

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業改良普及費

### 事業名 新たなブランド育成支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 普及企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2844)

E-mail: c11419@pref.lg.jp

1 事業費 5,300千円 (前年度予算額：5,300千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,300	0	0	0	0	0	0	0	5,300
要求額	5,300	0	0	0	0	0	0	0	5,300
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

「トマト」「ほうれんそう」「えだまめ」といった県のリーディング品目に続く、新たな売れる農産物の創出が必要である。また、一層の国際化が進む中で安い輸入農産物の増加により価格競争の激化が懸念され、魅力ある地域独自のブランド化が求められている。

### (2) 事業内容

普及指導員が中心となって地域にある自然・文化・人材といった資源を活かし、学校や企業など農業関係者以外とのコラボレーションを展開して、加工品づくりやイベントを結び付け、消費者に選ばれる新たなブランド創出の支援や、産地の持続的発展につなげる。

### (3) 県負担・補助率の考え方

農産物のブランド化は、ぎふ農業農村基本計画に位置付けられており、農業の振興に必要なため、県が費用を出して事業を実施する。

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	123	講習会講師謝礼
旅費	575	巡回指導、先進事例調査等
消耗品費	1,838	実証ほ設置に係る資材、マニュアル作成等
印刷製本費	300	
役務費	948	通信運搬費、土壌分析・品質分析等
使用料	416	視察バスや会場借上、E T C利用料等
負担金	100	研究会等への参加負担金
燃料費	1,000	公用車燃料
合計	5,300	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業農村基本計画

#### (2) 国・他県の状況

複数の都道府県で、新たなブランドづくりに向けた事業が展開されている。

#### (3) 後年度の財政負担

事業は、3年計画のため継続が必要である。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

農業改良助長法に基づき、県が農産物のブランド化の支援を実施

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 ブランド化の推進や産地の持続的発展の支援を行う。  
 また、産地発展のため担い手の育成・確保を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						%
対象品目のブランド化 (販売額目標達成品目数)	0	0	0	10	10	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の重点品目 10 点を選定。</li> <li>・ブランド創出または強化するため、生産及び販売面の課題を設定。</li> <li>・食品加工業者や小売業者等の農業関係機関以外と幅広く連携し、課題解決のための実証調査、品質分析、加工品開発等を実施</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の取組により生産量及び販売額が目標にむけ向上しつつある。</p>
令和3年度	<p style="color: red; text-align: center;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red; text-align: center;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>・地域の特性を活かしたブランド創出及び強化は、地域活性化につながるため事業の必要性が高い。</p> <p>・ブランド創出及び強化には、栽培技術と地域連携が重要であり、普及指導員が中心となり進める必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>実証ほを設置し品種特性を把握すると共に、必要な品質分析を行い、実需者との連携を行う有効な計画である。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
<p>(評価) 1</p>	<p>・ブランド創出及び強化にあたり、各地域の特性を活かしており、効率的である。地域活性化につながるため事業効果も高い。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>
----------------------------

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>事業計画に基づき、関係機関と連携しながらブランドづくりを推進する。</p> <p>各地域における農産物のブランド化について、普及指導員が生産面及び販売面から支援することは、地域振興のために今後も必要である。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	